

臨床研究に関する情報公開

<人を対象とする医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書および関連資料を閲覧することができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、患者さんに不利益が生じることはありません。

<p><研究課題名> 食道静脈瘤を合併する肝細胞癌患者の手術適応についての検討</p>
<p><研究機関・研究責任者名> 日本大学医学部附属板橋病院 消化器外科（研究責任者） 緑川 泰</p>
<p><研究期間> 本研究計画承認日 ～ 西暦 2023 年 12 月 31 日</p>
<p><研究の目的と意義> 肝切除は肝細胞癌に対するもっとも効果的な治療法ですが、門脈圧亢進症に伴う食道静脈瘤を合併する患者に対する肝切除の適応については特に欧米とアジアの間で異なります。すなわち、欧米では食道静脈瘤を伴う患者さんの肝切除は禁忌ですが、アジアでは病変のコントロールが可能で肝機能が保たれていれば肝切除の適応となります。本研究では食道静脈瘤を合併する患者に対する肝切除術の適応について、手術の安全性、術後生存の観点から考察します。</p>
<p><利用する試料・情報の項目> 研究対象者基本情報：年齢、性別、術前データ、予後、治療内容など 術前上部消化管内視鏡所見、及び術後病理所見 肝がん術後の生存期間及び無再発生存期間、術後合併症率</p>
<p><対象となる患者さん> 西暦 2000 年 4 月 1 日～西暦 2018 年 12 月 31 日の期間に当院消化器外科で肝がんの手術を施行された患者さんのうち、初回かつ根治手術を施行し得た方</p>
<p><研究の方法> 2000 年から 2018 年までの当科で肝細胞がんの手術を施行した 1300 例を対象とします。術前の腫瘍条件や血小板数を含めた肝機能などの背景因子を調べ、食道静脈瘤を合併する患者群と合併しない患者群間で術後合併症、生存期間について比較検討します。</p>
<p><お問い合わせ窓口> 日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1） 消化器外科 氏名：緑川 泰 電話：03-3972-8111 内線：(医局)2471 (PHS)8211</p>